

地方経済情報 Weekly No. 215

事業戦略の中心にSDGsを据えよう！

1. SDGsの現状

2015年に国連で採択されたSDGsですが、認知度は高まっており、国連広報室によると2019年6月時点の世界での認知度は62.4%となっています。また、イギリスのリサーチ会社Ethical Corporationが各国の企業向けに実施した調査では、回答企業の3分の2以上がSDGsを事業戦略に取り入れていると報告されています。

2. SDGsウォッシュには要注意

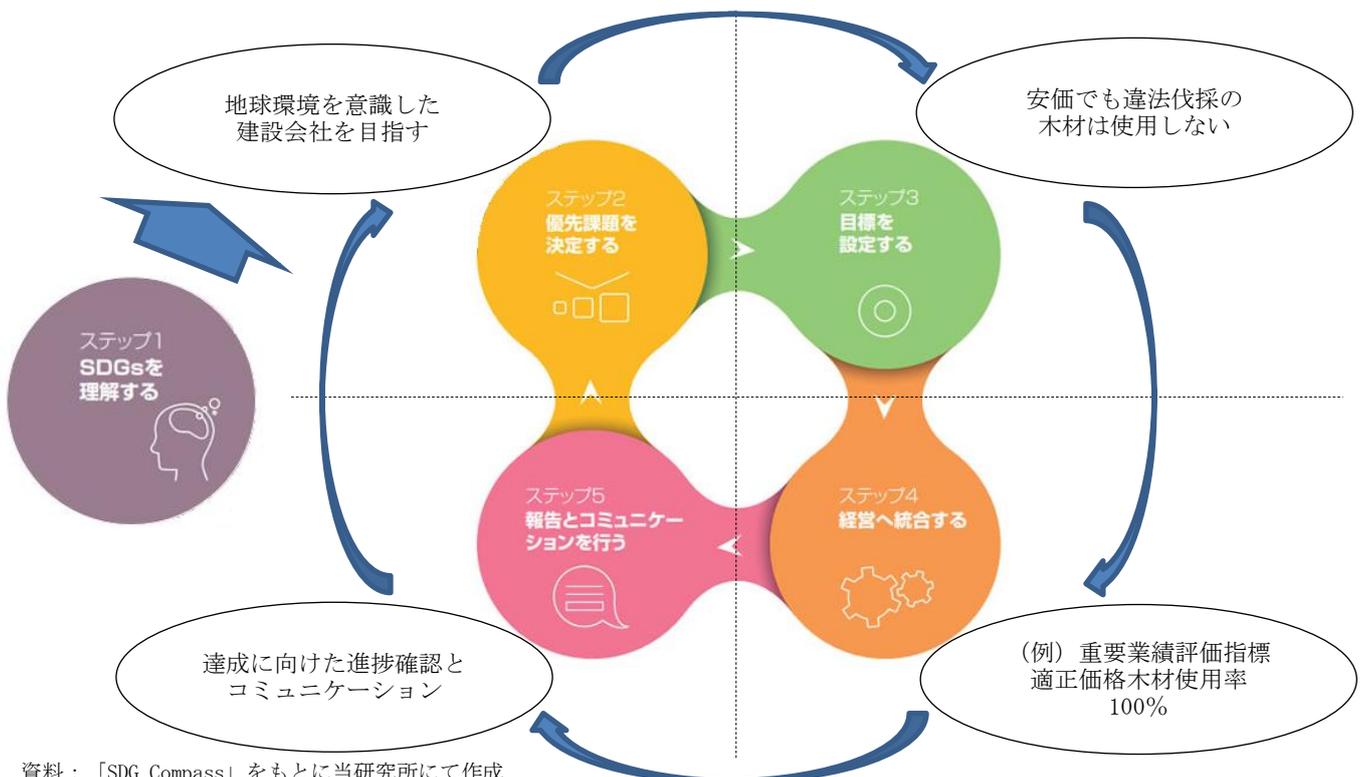
そのような中で「SDGsウォッシュ※」（以下、ウォッシュ）という現象が生まれてきました。ウォッシュとは国連が定める17の持続可能な開発目標に取り組んでいるように見えて、実態が伴っていないビジネスを指す造語です。例えば自社の取組とSDGsの目標を紐つけたものの、次に何をすればいいかわからず、そのままにしてしまう場合などです。

3. SDGsを事業戦略に組み込むために

ウォッシュを回避し、SDGsを事業戦略に組み込む指針としてSDG Compassがあります。これは国連グローバルコンパクトなど3団体が共同で作成したもので、SDGsを事業戦略の中心に据えるための5つのステップを段階的に紹介しています（図表1）。持続可能な事業のために、SDG Compassを参考に自社の取組をより発展させてみてはいかがでしょうか。

※SDGsウォッシュ：環境に配慮しているかのように見せかけるグリーンウォッシュから派生して造られた。グリーンウォッシュは「ごまかし、うわべ」という意味のホワイトウォッシュから出来た造語。

【図表1】 SDG Compassを取り入れた事業戦略のイメージ



資料：「SDG Compass」をもとに当研究所にて作成

地方経済総合研究所では会員様向けにSDGsに関する支援メニューをご用意しています。お気軽にご相談ください。

担当：研究員 財津